

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol.68

水と町づくり

徳島県 美波町長

ふじい ただし
藤井 格



1 はじめに

美波町は、徳島県の南東部に位置しています。海岸線は、風光明媚なリアス式海岸で千羽海崖やアカウミガメの産卵地大浜海岸などを有し、室戸阿南海岸国定公園の中心に位置しています。温暖な気候に恵まれていますが、その反面、降雨量は多く、昭和 47 年には時間雨量 141 mm を記録している日本の最多雨地域でもあります。

2 日和佐川

町の中心部を流れる日和佐川は、延長 16,291m でダムもなく、天然のアユが遡上する清流として知られています。日和佐川の下流域は日和佐港へと繋がっておりシーズンには海・川ともに多くの釣り人達でにぎわいます。しかし、大雨時には上流からの増水等により、家屋への浸水被害に悩まされていましたが、平成 7 年に都市下水路事業による雨水ポンプ場の完成に伴い、一部地区における浸水被害の解消が図られました。現在は、公共下水道事業により事業は引き継がれ、汚水対策も含めた排水対策事業を進めています。

3 水にまつわる話（瑠璃の水）

日和佐川の下流にある厄除橋からは、四国霊場

八十八カ所第 23 番札所「醫王山無量寿院薬王寺」が望めます。この薬王寺には本堂前の魚籃観音の水、本堂左側にある肺大師の水などの湧き水があり、女厄坂と男厄坂の石段の中段にある絵馬堂横にある手水所も同じ水源で、これらを総称して”瑠璃の水”と呼ばれています。これはご本尊である薬師如来（正式＝薬師瑠璃光如来）にちなんだもので、特に肺大師横の水は古来より肺の病に効くと伝えられており、寺の名称からも病に効く有り難い水として今も多くのお遍路さんが訪れています。

4 おわりに

水は蒸発し、雨となり、河川や地下水の流れとなり再び海へ戻るといった大きな循環を絶えず繰り返しています。この循環の過程では大雨などによる災害も発生しますが、水を浄化し多くの生命を育む大切な役割をも果たしています。

町づくりの中でも、この水に対する事業は重要な施策であり、治水事業などによる災害に強い安心・安全な町、下水道事業による公共用水域の水質保全と快適な住環境の町の実現に向け、町づくりを進めたいと考えております。



日和佐川（厄除橋）から薬王寺を望む



薬王寺絵馬堂横の手水所（お遍路さん）